

①日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

①公開実用新案公報 (U) 昭54-168195

②Int. CL²
A 47 F 3/08

識別記号 ②日本分類
101 J 74

序内整理番号 ③公開
7150-3B 昭和54年(1979)11月27日

審査請求 有

(全 2 頁)

③陳列容器

-104号

④出 願 人 株式会社博報堂

④実 願 昭53-65897

東京都千代田区神田錦町3丁目

④出 願 昭53(1978)6月18日

22番地2

④考 察 者 小田満晴

④代理 人 弁理士 野本陽一

横須賀市湘南鷹取5丁目45番U

⑤実用新案登録請求の範囲

金属線で構成され、前後方に並びる継棒と、該継棒前端に設け商品を当接する前棒と、上記両継棒の前端と後端に横架設した支持棒間に継棒と平行に架設した一対の案内板からなり、該案内板を側面略J字型となる押板の下端に穿設した振動孔に振動自在かつ路直に貫通するとともに該押板をコイルスプリングにより上記前棒方向に常に弾性伸縮して構成し、商品を前棒と押板間に挟持して整列することを特徴とする陳列容器。

図面の簡単な説明

図面は本考案陳列容器の実施例を示すもので、第1図は第1実施例を示す陳列容器の斜視図、第2図は同構断面図、第3図は押板を抜取出する状態の側断面図、第4図は他の実施例を示す平面図である。

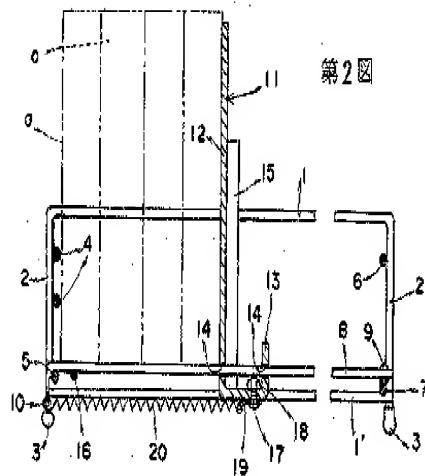
1……継棒、1'……下棒、2……支持脚、4……前板、5, 7……支持板、6……後板、8……案内板、11……押板、12……押板、13……扉折片、14……振動孔、20……コイルスプリング、4'……商品。

第1図

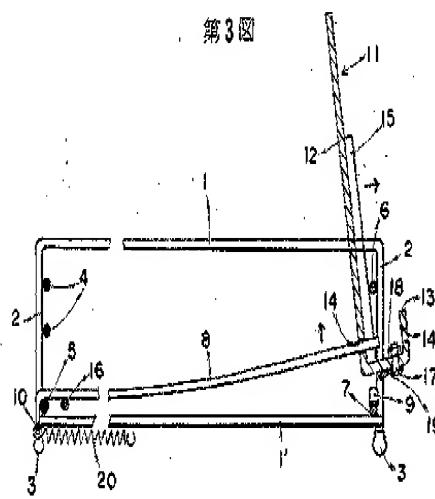
11
A 2 a

実用 昭54-168195(2)

第2図



第3図



第4図

